

(様式3)

事業所名 グループホーム つなぎの里

目標達成計画

作成日: 令和 5 年 2 月 3 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16	・コロナ禍により、外出や面会を制限したことで、関係の継続が難しくなっているため、面会を再開するにはどのような工夫や対応を今後行っていった方がいいか。	・面会を再開する	・地域におけるコロナ発生状況や都道府県が示す対策の方針等も踏まえるとともに、面会時間や回数、場所を含めた面会の実施方法を判断し、感染症が疑われる症状を有する場合は面会を断り、面会後の換気や使用した机、椅子、ドアノブ等の消毒等行うなど、感染対策を徹底し、面会の再開に努める。	6ヶ月
2	2	・コロナ禍により、事業所と地域とのつながりが減っており、交流までは難しくても、つながりを意識した行動が必要である。	・コロナ禍の中でも、地域とのつながりを持つ機会作り。	・利用者が地域の方と関わるのは、受診など挨拶程度となるが、地域総会会議への参加や町内のクリーンアップなどに参加し、つながりを意識し、少しずつできるところから行動する。	12ヶ月
3	4	・運営推進会議は、定期的に行っているが、コロナ禍にて書面で行っている。ただし、質問などは連絡いただくようにしているが、連絡はない。そのため、こちらから意見を聞く方法等を検討する必要がある。	・意見をサービス向上に活かせるよう、意見を聞く。	・報告書を郵送後、委員会の方々に連絡をし、意見をいただく。運営推進会議及び利用者やサービスへの取り組みに活かしていけるよう、委員会から出た意見を職員へ周知していく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。